

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人 柏寿会

福光園ケアハウス老楽園

〒021-0902

一関市萩荘字大袋 306番地1

電 話 3 2 - 2 5 1 0

F A X 3 2 - 2 5 1 1

目次.....	1
1. 沿革.....	2
2. 事業の目的.....	2
3. 事業の内容.....	2
4. 当年度の目標の反省.....	4
5. 入居者の状況.....	7
6. 行事の実施報告.....	10
7. ボランティア等受け入れ状況.....	11
8. 研修実施状況.....	11
9. 主な事業活動収入等.....	11

1. 沿革

ケアハウス老楽園は、平成17年3月12日、一関市萩荘大袋に開所しました。

利用定員20名、職員5名で事業を開始し、同施設内には、デイサービスセンター老楽園が併設されています。平成22年4月1日には、本部の特別養護老人ホーム福光園が大袋に移転新築され、二階部分にケアハウス老楽園特定施設入居者生活介護（利用定員20名）が増床されました。介護付きケアハウスの開所により、ケアハウスの入居者にとっても、住み続けられるという安心感が強まりました。

2. 事業の目的

身の回りのことができる程度の自立した生活ができるものの、調理等に負担を感じつつある高齢者の方を対象として、食住の提供および入浴の準備、相談、余暇活動支援、緊急時の対応といったサービスを提供することによって、その人なりの自立した生活をしていただけるよう援助することを目的とする。

3. 事業内容

①食事の提供

1日3食、基本的には食堂にて食べていただく形で提供しています。欠食をする場合は、原則として前日17時まで（朝食は10時まで）に届けを出していただいています。

給食委員会を2か月に1回行い、入居者の意見をもとに、職員、栄養士で食事について意見や感想等話し合っています。不定期でごはんについて語る会を行い、栄養士と入居者、職員で食事についてお話ししています。

また、嗜好調査（食形態や主食の量、個人の嗜好等の確認）を6カ月に1回実施し、代替食にも対応しています。体調の変化等に合わせて、一時的に主食をおかゆにするなどといった対応も個別に行っています。

行事食や季節に合わせたメニューなどは特に喜ばれています。

②入浴の準備

ケアハウスには個室浴槽が2つあり、午前中から夜までご本人の希望に合わせた予約制で入浴していただいています。施設側で浴室の掃除、湯沸しを行い、

一人ずつ入っていただきます。お湯は一人ひとり替えるため、気兼ねなく入浴していただけます。一人で入浴することが不安な方は、ヘルパー見守り・入浴、あるいはデイサービスでの入浴を利用しています。

③生活や健康に関する相談及び助言

入居者やご家族の生活相談や健康相談を受け、必要に応じてケアマネや他のサービス事業者等と連携して対応しています。

入居者に対しては、日頃から月に1回の体重測定、週に1回の健康チェック(血圧測定等)の他、冬期間朝の検温や換気の声かけ、必要に応じて通院日程の調整やその方にあった薬の管理方法の確認等を行い、各自が適切に健康管理できるよう支援しています。

また、年に1回予防医学協会による健康診断の機会を設け、入居者に喚起しています。

年4回感染症対策委員会を行い、その内容や健康管理に関する情報を月に1回の常会等でお知らせし、役立てていただいています。

ご家族に対しては、毎月おたよりの送付を行っており、行事の様子や翌月の予定等を掲載した新聞「老楽園だより」や連絡事項、ご本人の様子の変化等をお知らせしています。

ケアハウスは自立型の施設のため、ADLの低下や認知症の進行等により次の施設への移行が必要になることがあります。しかし、介護付きの施設へ移行するということは入居者にとってもご家族にとっても、精神的・身体的・経済的にも負担が大きいことと思われれます。

ご本人のご家族の前での様子と、ケアハウス職員から見える様子が違うこともあるため、普段からご家族にご本人の状況を定期的に伝えることが必要と考えます。入居者・ご家族に安心して暮らしていただくため、また、ご家族にご本人の体調や状態の変化への心の準備をしていただくためです。

施設の移行が必要になった際は、ケアマネと連携し、ご本人、ご家族の気持ちの傾聴、当園で作成した「介護付きの施設が気になった時の手引き」を含め必要な情報提供等を行うことで、移行における精神的負担へ配慮していきたいと考えています。

④余暇活動の支援

季節に合わせた行事(お正月、節分、ひな祭り、お花見、七夕祭り、紅葉ドライブ等々)や、買い物行事、外食行事、外部講師を招いてのクラブ活動(レクリエーション、歌の会)、毎週問題を配布する学習クラブなど入居者同士の交流や余暇時間を充実させるための支援を行っています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、中止や形を変えて行った行事も多くありましたが、園内でできる行事を増やし対応しています。

⑤疾病や災害等緊急時の対応

体調の急変時は、かかりつけ医等医療機関やご家族と連絡を取りながら対応しています。夜間は常時看護師と連絡が取れる体制をとっています。

また、災害による被害を軽減するため防災計画を作成し、消防署との連携の下、定期的に避難訓練を実施しています。

⑥その他のサービス

○通院の送迎

タクシーを利用した場合の金銭的負担を考慮し、平日の9:00~18:00はケアハウスで送迎を行っています。希望時間・予約時間になるべく合わせて送り、帰りはケアハウスに電話で連絡してもらい、その都度迎えに行っています。通院の送迎が優先にはなりますが、希望に応じて、市役所や郵便局、自宅、買い物等への送迎にも対応しています。

○介護保険サービスの仲介

初回の介護認定の申請に関する相談や、ケアマネへつなげるお手伝い、その他生活の様子を見ながら、相談・助言等行っています。

4. 当年度の目標の反省

①入居者同士が適度な距離感で暮らせるよう、雰囲気づくりを行う。そのために、入居者とともに「老楽園生き楽川柳10カ条」を作成・園内に掲示等行う。

入居者間の関係がピリピリしている様子も見られたため、意識が少し変わることで暮らしやすくなればと考え、川柳の掲示を始めています。

最初のうちは「あれいいね」という声があったり、川柳を覚えてくれていたりということもありましたが、なかなか自分のこととしてはとらえられなかったり、本来の意味と違う取り方をされることもあり、掲示をとりやめた川柳もありました。現在もときどき内容を変更し、細々と掲示は行っています。

雰囲気づくりという意味では、短時間でもできるだけ1対1で話をする時間を持つことの大切さを感じました。「気にかけてもらえている」「わかってくれている」と思ってもらえることで、落ち着くところもあるようです。わたしたちでは解決のしようのないことも多々ありますが、入居者一人一人に安心して暮らしてもらうことが、入居者同士の関係を良好にするためにも良いようです。

また、環境的な部分として、食堂の席替えや、共用物を撤去し個人持ちへ変更したこと（ティッシュ、調味料等）なども適度な距離感を保つためには有効だったと思われます。新型コロナウイルス感染症対策という大義名分もあり、大きな混乱なく行うことができています。

席替えは入居者間の関係（お互いの場所から見える・見えない、同じテーブルになれるかどうか）や、歩行器の置く場所、本人の歩行状態や動線、寒がり・暑がり、テレビが見える・見えない、食べるのが早い・遅い等様々な要素を考慮して行っています。席替えを試してみなければわからないことも多いですが、少しでもお互いの居心地がよくなるように、普段の話や様子を心に留めて活かしていきたいと思います。

②入居者の体調不良時等、関係機関・ご家族との効率的な情報共有を行えるよう、情報の管理・提供方法の見直しを行い、整備する。

令和2年度は独自のフェイスシートを作成し、入居者の情報を更新することができました。今後も項目等の追加・変更を行い、緊急の通院や施設移行時等に活かせる情報にしていきたいと考えています。常に入居者の状態も変化しているため、更新していく仕組みづくりは今後の課題です。

面会制限が続いているため、LINE でビデオ通話が可能な環境を整えています。LINE を利用できないご家族もあり、少数の方の利用にとどまっています。

日中は仕事をしているご家族も多いため、緊急ではない報告や物品購入依頼等についてLINE のトーク（メール）での連絡も行い、利用されたご家族からは好評でしたが、誤送信の恐れ等個人情報を扱う媒体としてどうか？といった声もあり、現在は一時中止しています。LINE 使用におけるガイドラインの作成（こういった場合・内容・範囲においてLINE を使用するか等）、そのうえでご家族がLINE の文字でのやりとりを希望するかについての同意書など、個人情報保護に配慮した使用方法の検討を行いたいと思います。

③ご家族等の支援が受けられない入居者や、経済的に不安がある入居者の支援方法について、ケアハウスとしてできることを検討する。また、そういった方が介護が必要になった場合の対応・退居先について、制度や他の社会資源を利用して対応できないか情報収集し、今後の支援につなげる。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、これまでご家族に支援していただいていた部分が難しくなったことも多くありました。

衣替えや居室環境の整備、空家になっている自宅へ帰る場合の付き添いなど、ヘルパー・家政婦等を利用して行ってもらったことがありました。

感染症対策によって入居者個人の出費がかさんでしまうことにもなるため、

ケアハウスでどこまで支援するか、できるかといった線引きが特に難しいと感じた1年でした。

ケアハウスでオプションサービスを行っているところもあるようですが、ヘルパーより安ければ依頼が多くなり対応できなくなったり、高ければ必要な人が利用できないといったことも考えられるため、どのような内容、利用条件、料金で行っているのか今後情報収集していきたいと思います。

入退居は多くはありませんでしたが、介護付き施設へ移行する場合は経済的な問題（生活保護等）や介護度の低さ（要介護1～3）、透析治療が必要な方など、受け入れてもらえる先がかなり限られる方について、その都度ケアマネやご家族と探しています。

ご本人の状態や、ご家族の支援、タイミング等にもよるため「こうすればいい」ということはわかりませんが、なるべく早めに複数の施設に入居申し込みを行うこと、居室内の配置換えや福祉用具・ヘルパー・デイ等のサービスの再検討によってできるだけケアハウスで暮らしていけるよう支援していくこと、またご家族やケアマネとご本人の状態を共有していくことなど、一つ一つしていきたいと思います。

5. 入居者の状況

(1) 月別利用状況及び充足率

月	月初利用者数	入居	退居	月末利用者数	利用率
4	20	0	1	19	95.7
5	19	1	0	20	95.3
6	20	0	0	20	95.3
7	20	0	0	20	95
8	20	0	0	20	95.1
9	20	0	0	20	97.8
10	20	0	0	20	95
11	20	0	1	19	93
12	20	1	0	20	100
1	20	0	0	20	100
2	20	0	0	20	100
3	20	0	0	20	100
計	239	2	2	238	96.9

※利用率については、入院・外泊分も不在とみなして集計

【入居前居所】 自宅より 1名 病院より 1名

【退居理由】 他施設へ 1名 長期入院 1名

(2) 入居前住所別利用者数

〔令和3年3月31日現在〕

入居前住所	人数（名）	入居前住所	人数（名）
一関市	14	仙台市（宮城県）	1
平泉町	1	東京都	1
奥州市	2		
釜石市	1	計	20

もともと市内在住の方が多くですが、一関に子どもや親戚がいたり、近くに希望する施設がなかったりと市外から入居される方もいらっしゃいます。

ケアハウスに住所を移している方は、入居者20名中6名です。

(3) 年齢別・男女別利用者数

〔令和3年3月31日現在〕

年齢	男性〔名〕	女性〔名〕	計〔名〕
60代	1	1	2
70代	0	0	0
80代	2	7	9
90代	0	9	9
計	3	17	20

※入居者の平均年齢

〔男性〕 77.3 歳 〔女性〕 87.8 歳

〔全体〕 86.2 歳

(4) 年齢別介護度の状況

〔令和3年3月31日現在〕

	～69歳 〔名〕	70～ 74歳 〔名〕	75～ 79歳 〔名〕	80～ 84歳 〔名〕	85～ 89歳 〔名〕	90歳～ 〔名〕	計 〔名〕
自立	1	0	0	3	0	0	4
要支援1	0	0	0	0	0	1	1
要支援2	1	0	0	0	1	3	5
要介護1	0	0	0	0	4	3	7
要介護2	0	0	0	1	0	2	3
計	2	0	0	4	5	9	20

平均介護度 0.92

入居される理由として、60歳代は身体的・体調的に不安がある方が多く、80～90代以上の方は一人暮らしが難しくなってきたという方が多いため、それがそのまま年齢・介護度に反映されており、二極化の傾向があります。

(5) 介護サービスの利用状況

〔令和3年3月31日現在〕

介護度	人数	サービス 利用あり	利用内訳（重複あり）		
			デイ	ヘルパー	福祉用具
自立	4	0	0	0	0
要支援1	1	1	1	0	0
2	5	5	3	5	3
要介護1	7	7	5	7	5
2	3	3	3	3	2
計	20	16	12	15	10

要支援・要介護認定を受けている方全員が、何らかの介護保険サービスを利用しています。

ヘルパーの利用内容は、居室の清掃・入浴の付き添い・介助、通院の付き添いが主です。福祉用具は歩行器のレンタルが最も多く、その他杖や手すり（ベッド、トイレ、居室内）のレンタルを利用されています。

デイ・ヘルパーの利用回数も増加傾向で、週5回以上サービスを利用している方が20名中7名となっています。当園特定施設に申し込みをしている方も増えています。

(6) 通院の送迎回数

ケアハウス職員が病院に送迎した回数（往復で1カウントする）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
名	10	10	16	14	14	11	23	28	11	19	10	16

年間合計 182回

平日の9:00～18:00 通院送迎対応を行っています。

例年毎月20～40回送迎がありますが、今年度は新型コロナウイルス対策のために、職員が薬をもらいに行くなどの対応をしているため、例年の半分程度の回数となっています。内容的にも、皮膚科や歯科といった本人受診が必要な通院が占めています。

10～11月はインフルエンザの予防接種があったことと、県内でも新型コロナウイルス流行が比較的落ち着いていたため、薬のみもらうことが続いた方に受診してもらっていたため、通院が増えています。

通院が優先ですが、この他に銀行や市役所、買い物等の送迎も行っています。

6. 行事の実施報告

月	季節の行事	その他の行事
4月	観桜会、お花見ドライブ、 入居者親睦会総会	定期開催 ・常会（月1回） ・移動図書館（月1回） ・おつかい（月3回程度） ・健康チェック（週1回） ・問題集配布（週1回） ・クリーニング（週1回） 不定期開催 ・居室整理
5月	母の日、ミニ運動会	
6月	父の日、お弁当の日、七夕飾り作り、 シールちぎりあ〜と作り、ごはんにつ いて語る会	
7月	老楽園夏祭り①～③、避難訓練	
8月	入居者検診、お弁当の日	
9月	敬労会、作品展示会	
10月	ラジオ体操、おやつ会、避難訓練	
11月	いものこ会、ごはんについて語る会	
12月	忘年会、クリスマスランチ、餅つき	
1月	新年会、新春ゲーム大会、布団交換	
2月	節分、ひな人形飾り	
3月	ひな祭り会	

7. ボランティア等受け入れ状況

※新型コロナウイルス対策のため、休止中
 歌の会（大正琴） OM様 （月1回）
 レクリエーション SY様 （月2回）

8. 研修実施状況

1/20 身元保証事業説明会

9. 主な事業活動収入等

のべ利用者数： 7070人（利用率96.9%）
 老人福祉事業収入： 36,440,219円